

一人一人の教育的ニーズに対応した、一貫性のある継続した指導・支援のために

通知票等と連動した 個別の指導計画 作成・活用パック（特別支援学級用）



資 料 編



岩手県立総合教育センター
教育支援相談担当

目次

第1章

個別の指導計画 作成・活用パック（特別支援学級用） デジタルデータ編

一人一人の教育的ニーズに対応した、一貫性のある継続した指導・支援のために！

1	ソフトの内容	2
2	ソフトの活用（例）	3
	・ 通知票関連シート群と、指導計画関連シート群の組み合わせによる ファイリング形式の通知票（例）	3
	・ 各シート作成・活用の流れ（例）	4
3	指導計画関連シート群	5
★	指導計画A，指導計画A ⁺	5
★	指導内容一覧	7
★	指導計画B	9
4	通知票関連シート群	10
	・ 表紙，裏表紙	10
	・ 教科欄（通常の教育）	10
	・ 生活記録欄・生活記録欄（諸活動あり）・生活記録欄（総合あり）	10
5	個別の教育支援計画関連シート群	11
★	フェイスシート兼家庭環境調査票	11
★	交流学級，教科担任打合せ資料	11
●	基礎資料	12
●	ネットワーク記録表	12
●	生活に関するアンケート（保護者宛）	12
6	個別の指導計画に基づいた指導と評価の手順や留意事項	13
	・ 指導と評価の手順や留意事項	14
	・ 小学校の事例	15
	・ 中学校の事例	19
7	情報共有の方法やその具体	21
	・ 交流学級担任・教科担任	21
	・ 保護者	21
	・ 隣接校種等	22

★印のついた指導計画等のシートに、●印のシートから必要のあるものを加えることにより、個別の教育支援計画として活用できます。

第2章

個別の指導計画，指導要録等の内容

法的な性格と内容，機能上の違いや共通点を踏まえた作成と活用！

1	学習指導要領・指導要録・評価規準・通知票	23
2	個別の指導計画	23
3	指導要録	24

第1章

一人一人の教育的ニーズに対応した、一貫性のある継続した指導・支援のために

個別の指導計画 作成・活用パック（特別支援学級用） デジタルデータ編

まずは、ここに注目！

1
ソフトの内容

指導計画関連シート群	通知票関連シート群	個別の教育支援計画関連シート群
<p>各教科等における指導内容を明確にするとともに、自立活動における指導内容を焦点化します。</p> <p>児童生徒の教育的ニーズや、指導目標、指導内容、指導形態に即しながら、各シートを組み合わせ作成します。</p>	<p>通知票の表紙や生活記録欄等の様式例で構成されています。各学校の実状に応じながら適宜様式を変更できます。</p> <p>指導計画関連シート群の各シートと組み合わせ、ファイリング形式の通知票を作成できます。</p>	<p>長期的な視点で一貫して的確な支援を行うための、関係機関等との連携協力をするためのシートで構成されています。</p> <p>各校で取り組まれている家庭環境調査票を基にして、必要なシートを活用します。</p>

はじめにお読みください



注意

本ソフトのデータの紛失・盗難・お取り扱い等には十分ご注意ください。
本ソフトは、Microsoft Office Excel2007 を使用して作成しています。
※Excel に関するシステムやサポート等の情報は、Microsoft 社にお問い合わせください。

通知票関連シート群と、指導計画関連シート群の組み合わせによるファイリング形式の通知票（例）

1: 指導計画関連シート群それぞれのシートを組み合わせることで指導計画を作成しましょう。

- ★「指導計画A(A⁺)」… 自立活動についての指導計画
- ★「指導内容一覧」… 教科等の指導内容を確認
- ★「指導計画B」… 各教科についての指導計画

小・中学校特別支援学級においては、障がいの状態等が幅広く、指導内容や支援方法も多岐に及んでいる児童生徒が在籍しています。ある学級では、多くの時間を特別支援学級で学習する児童生徒もいれば、交流学級での教科等の学習に多く取り組んでいる児童生徒もいます。ある一つの個別の指導計画の様式を児童生徒全員に当てはめるのではなく、指導計画関連シート群を使って、児童生徒の教育的ニーズや、指導目標、指導内容等に即しながら、それぞれのシートを組み合わせることで指導計画を作成・活用しましょう。

2: 作成した指導計画を通知票として活用しましょう。

作成した指導計画関連シート群のシートと、通知票関連シート群を組み合わせ、ファイリング形式の通知票を作成・活用することもできます。

指導内容	通常の教育の各教科等(当該学年)	通常の教育の各教科等(下学年)	特別支援学校(知的障がい)の各教科等
	自立活動		
指導の場	通常の学級		特別支援学級
通知票 関連シート群	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「表紙」 ■ 「裏表紙」 ■ 「生活記録欄」 		
	■ 「教科欄(通常の教育)」	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「教科欄(通常の教育)」 ※取り扱った小・中学校の教科の指導内容を記入 ※小・中学校の教科の指導内容を取り扱っていない場合は、「教科欄(通常の教育)」を使用しない 	
指導計画 関連シート群	<ul style="list-style-type: none"> ★ 「指導計画A」 または 「指導計画A⁺」 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 「指導計画A」 または 「指導計画A⁺」 ★ 「指導内容一覧」 ★ 「指導計画B」 ※取り扱った特別支援学校(知的)の教科の指導内容を記入 ※特別支援学校(知的)の教科の指導内容を取り扱っていない場合は、「個別の指導計画B」を使用しない 	

※上表の各シートに加えて「交流学級、教科担任打合せ資料」、「フェイスシート兼家庭環境調査票」を活用し、指導内容や配慮事項等について、特別支援学級担任と交流学級や教科担任との共通理解を図ることが大切です。


【通常の教育の各教科等で学んでいる
仙太さんのファイリング形式の通知票】

通知票
通常の学級の

- 「表紙」、 ■ 「裏表紙」
- 「生活記録欄」
- 「教科欄(通常の教育)」

+

- ★ 「指導計画A」




【特別支援学校(知的障がい)の各教科等で学んでいる
銀河さんのファイリング形式の通知票】

- 「表紙」、 ■ 「裏表紙」
- 「生活記録欄」

+

- ★ 「指導計画A」
- ★ 「指導内容一覧」
- ★ 「指導計画B」



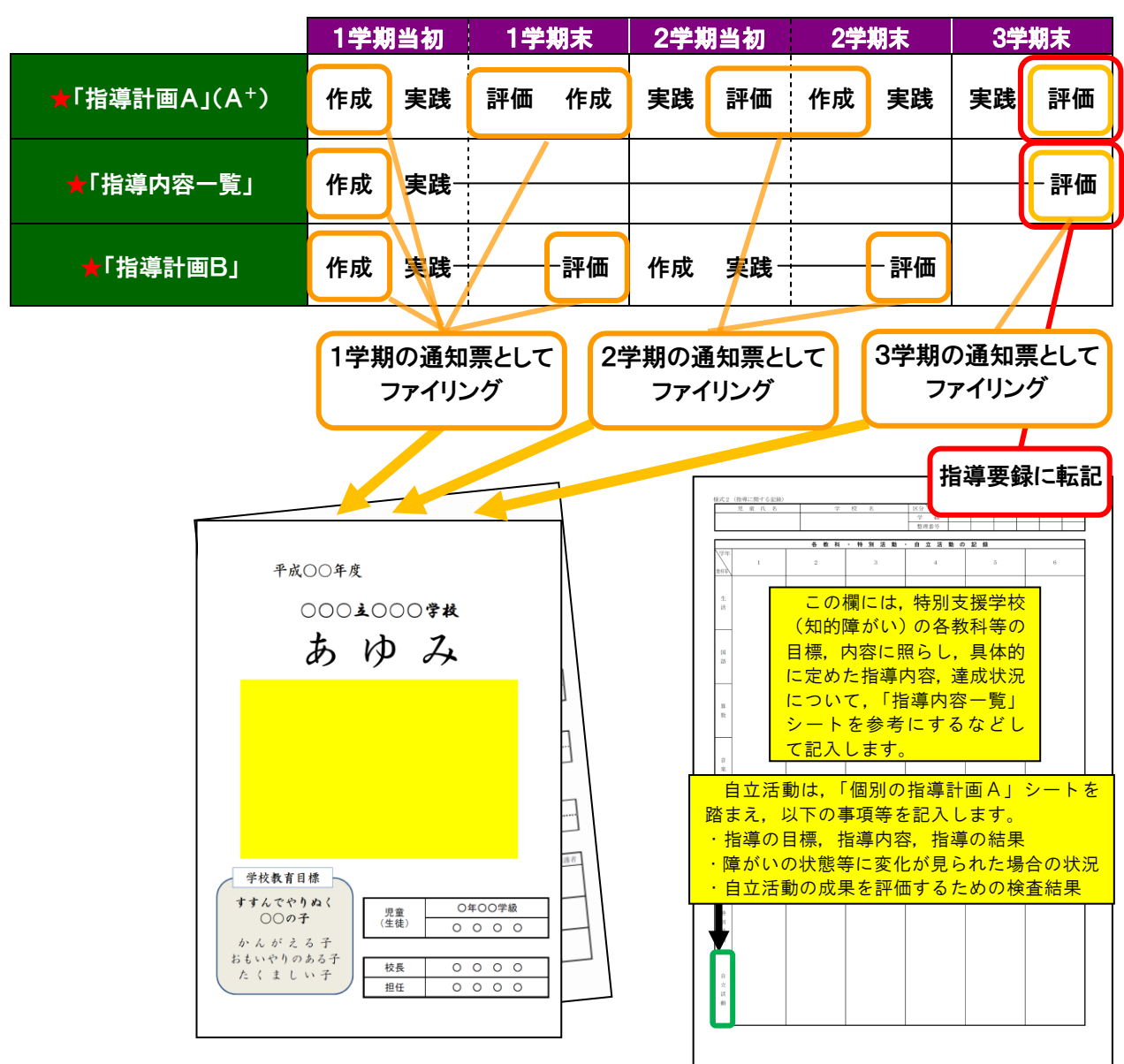
各シート作成・活用の流れ(例)

個別の指導計画は、一人一人の教育的ニーズに対応した、一貫性のある継続した指導・支援のための道具です。具体的には、以下のことを目的として作成することが考えられます。

- ◆一人一人の教育的ニーズに対応した指導目標や指導内容を設定するため
- ◆指導形態ごとの学習状況を把握しながら学習評価を行い、それを授業の改善に生かしていくため
- ◆保護者や校内の教職員、関係機関等と情報を共有するため など

作成することが目的ではなく、活用することが目的であることから、「的確かつ効率的な作成と効果的な活用」が大切な視点です。

個に応じた指導の充実や学習評価につなげたり、通知票や指導要録へ反映させたりするための、本ソフトを使った指導計画の作成・活用の流れを以下に示します。



本ソフトの各シートはデジタルデータによる例示です。各学校の実状等に応じながら適宜様式を変更できます。個別の指導計画と通知票、指導要録それぞれの内容と機能を確認の上、関連させて作成することが、効率的な作成や記録の活用につながります。

指導計画 A

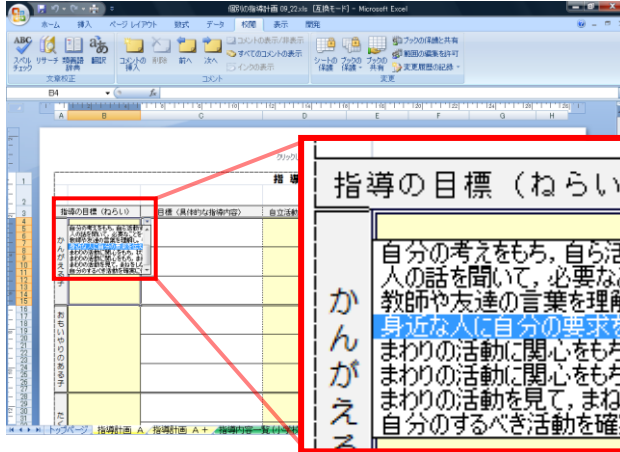
～学校教育目標と自立活動の視点から！～

指導計画 A+

～焦点化した目標・内容を自立活動の視点から！～

3 指導計画関連シート群

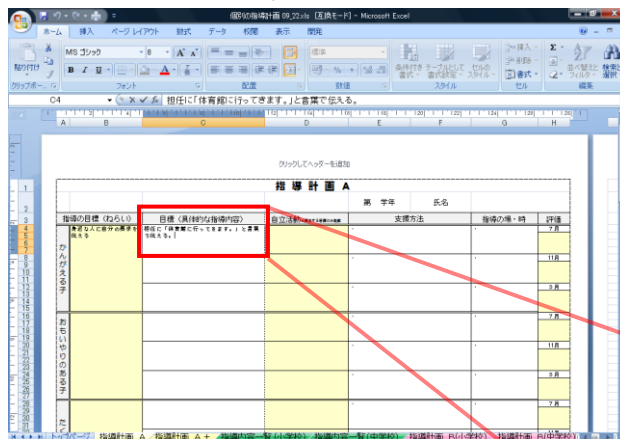
- 1 学校教育目標の知(かんがえる子), 徳(おもいやりのある子), 体(たくましい子)ごとに, 三角のボタンをクリックして, 「指導の目標(ねらい)」を選択します



黄色いセルは, 三角のボタンが出て, ドロップダウンリストから選択することができます。

指導計画 A+					
指導の目標 (ねらい)	目標 (具体的な指導内容)	自立活動(※優先する目標のみ記載)	支援方法	指導の場・時	評価
					7.8
					11.8
					3.8

- 2 「目標(具体的な指導内容)」を, 児童生徒の行動レベルで入力します



自立活動は, 人間としての基本的な行動を遂行するために必要な要素と, 障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服するために必要な要素によって構成されています。

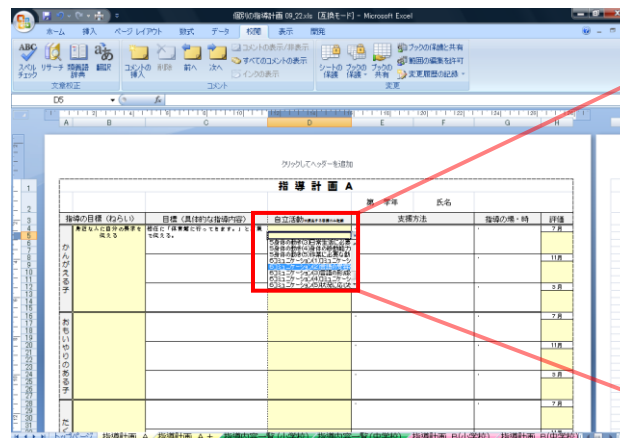
「個別の指導計画 A」と「個別の指導計画 A+」は, 自立活動の視点から, 指導の目標や指導内容等を設定し, 実際の取組に生かすためのものです。

「指導計画 A」, 「指導計画 A+」の, どちらかを選んで活用してください。



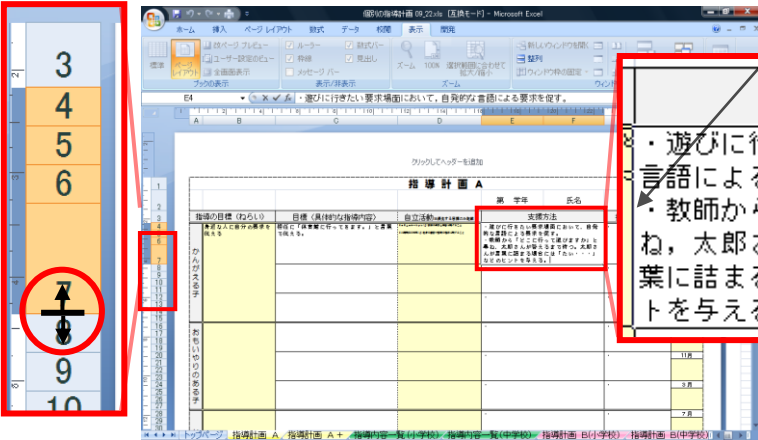
目標 (具体的な指導内容)
担任に「体育館に行ってきます。」と言葉で伝える。

- 3 「自立活動の目標との関連」について, 三角のボタンをクリックして選択します ※区分等は次頁参照
複数の自立活動の目標と関連する場合は, 同じ操作を繰り返します



自立活動 ※優先する目標のみ記載
5身体(3)日常生活に必要な基本動作(3)身体(4)身体移動能力に関する(3)身体(5)作業に必要な動作と円滑な(5)身体(5)作業に必要な動作と円滑な(5)身体(5)作業に必要な動作と円滑な
6コミュニケーション(1)コミュニケーションの基礎(1)コミュニケーション(2)言語の受容と表出に(2)コミュニケーション(2)言語の受容と表出に(2)コミュニケーション(2)言語の受容と表出に
6コミュニケーション(3)言語の形成と活用に(3)コミュニケーション(3)言語の形成と活用に(3)コミュニケーション(3)言語の形成と活用に
6コミュニケーション(4)コミュニケーション手段の(4)コミュニケーション(4)コミュニケーション手段の(4)コミュニケーション(4)コミュニケーション手段の
6コミュニケーション(5)状況に応じたコミュニケ(5)コミュニケーション(5)状況に応じたコミュニケ(5)コミュニケーション(5)状況に応じたコミュニケ

4 「支援方法」を入力します
 行の高さが足りないときには、マウスポインタをセル行番号の下側境界に合わせ、マウスポインタが下図の形状になったら、ドラッグして高さを変更します

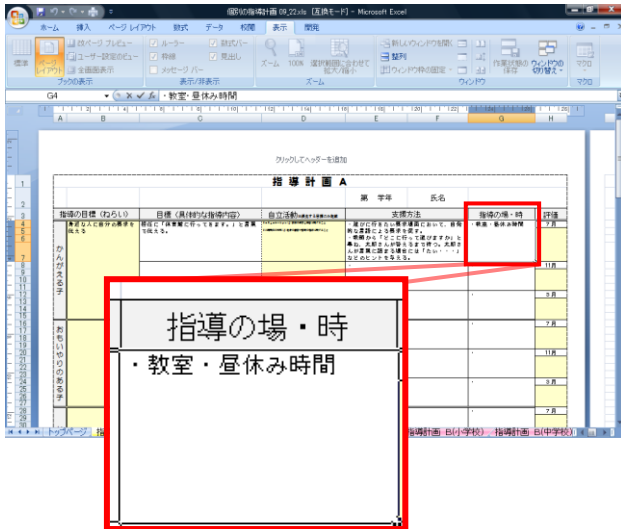


改行したいときには「Alt」キーと、「Enter」キーを同時に押します。

支援方法

- ・遊びに行きたい要求場面において、自発的な言語による要求を促す。
- ・教師から「どこに行って遊びますか」と尋ね、太郎さんが答えるまで待つ。太郎さんが言葉に詰まる場合には「たい・・・」などのヒントを与える。

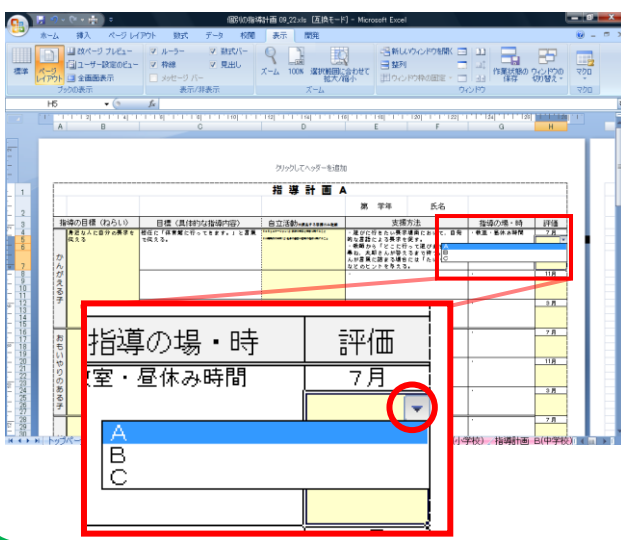
5 「指導の場・時」を入力します



自立活動の内容を確認！

- 1 健康の保持**
 - (1)生活のリズムや生活習慣の形成に関する事
 - (2)病気の状態の理解と生活管理に関する事
 - (3)身体各部の状態の理解と養護に関する事
 - (4)健康状態の維持・改善に関する事
- 2 心理的な安定**
 - (1)情緒の安定に関する事
 - (2)状況の理解と変化への対応に関する事
 - (3)障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲の向上に関する事
- 3 人間関係の形成**
 - (1)他者とのかかわりの基礎に関する事
 - (2)他者の意図や感情の理解に関する事
 - (3)自己の理解と行動の調整に関する事
 - (4)集団への参加の基礎に関する事
- 4 環境の把握**
 - (1)保有する感覚の活用に関する事
 - (2)感覚や認知の特性への対応に関する事
 - (3)感覚の補助及び代行手段の活用に関する事
 - (4)感覚を統合的に活用した周囲の状況の把握に関する事
 - (5)認知や行動の手がかりとなる概念の形成に関する事
- 5 身体の動き**
 - (1)姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事
 - (2)姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関する事
 - (3)日常生活に必要な基本動作に関する事
 - (4)身体の移動能力に関する事
 - (5)作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事
- 6 コミュニケーション**
 - (1)コミュニケーションの基礎的能力に関する事
 - (2)言語の受容と表出に関する事
 - (3)言語の形成と活用に関する事
 - (4)コミュニケーション手段の選択と活用に関する事
 - (5)状況に応じたコミュニケーションに関する事

6 「評価」の際には、三角のボタンをクリックして選択します



指導内容一覧（小学校用）

～教科等の指導内容を確認！～

指導内容一覧（中学校用）

～教科等の指導内容を確認！～

3

指導計画関連シート群

1 作成する児童生徒について、各教科等の「指導内容」の三角のボタンをクリックして選択します

※ 色つきの教科名は、特別支援学校(知的障がい)の各教科です

在籍学年と同じ指導内容や、下学年の指導内容で学ぶ児童生徒の場合は、白いセルから選択します

各教科等の指導内容は、小学校、中学校、特別支援学校(知的障がい)の学習指導要領に基づいてデータベース化されています。三角のボタンをクリックすると選択できます。また、引継ぎ資料を参考にすることも大切なことです。



※児童生徒の教育的ニーズを踏まえて、特別支援学校(知的障がい)の各教科等がよいのか、在籍学年の各教科等がよいのかを検討した上で、必要なセルに入力します。

※作成しない行については、マウスポインタでセル行番号をドラッグしてから、右クリック→削除します。

2 選択した指導内容についての「年度当初の様子」を入力します

教科等	指導内容	年度当初の様子	年度末の様子
算数	【加法】和が10以下の加法	5までの数で、合わせていくつか数えることができる。	和が10以下の合併の場面について、「合わせて」を用いた加法の意味が分かる。
	【量と測定】長さやかさの大小、多少、長短の比較	具体物を感覚的に直接比較して、大小、多少、長短が分かる。	3量の長さについて、2量ずつ比べて、3量の長さの関係をとらえることができる。
	【図形・数量関係】基本的な図形 四角、三角、丸の形	円、三角、四角の型はめがける。	「しかく」の中に「ましかく」と「ながしかく」があることを理解し、区別することができる。
	【一日の時】「きのう」「きょう」「あした」の区別	一日の時の移り変わりについて話題にすることができる。	今日を基点として「きのう」と「あした」について理解することができる。
	【時計】〇時	日常生活において「〇時」と聞いたことがある。	時計を指し示した上で、「〇時」と読むことができる。

『～ができない』という表現ではなく、『～ができる』など、どの段階まで到達しているかという視点で表現します。このような肯定的な表現で入力することにより、ステップアップの考え方で、次の指導内容を選定することができます。

3 年度末には、「年度末の様子」に児童生徒の活動の様子をまじえながら入力します。

教科等	指導内容	年度当初の様子	年度末の様子
算数	【加法】和が10以下の加法	5までの数で、合わせていくつか数えることができる。	和が10以下の合併の場面について、「合わせて」を用いた加法の意味が分かる。
	【量と測定】長さやかさの大小、多少、長短の比較	具体物を感覚的に直接比較して、大小、多少、長短が分かる。	3量の長さについて、2量ずつ比べて、3量の長さの関係をとらえることができる。
	【図形・数量関係】基本的な図形 四角、三角、丸の形	円、三角、四角の型はめがける。	「しかく」の中に「ましかく」と「ながしかく」があることを理解し、区別することができる。
	【一日の時】「きのう」「きょう」「あした」の区別	一日の時の移り変わりについて話題にすることができる。	今日を基点として「きのう」と「あした」について理解することができる。
	【時計】〇時	日常生活において「〇時」と聞いたことがある。	時計を指し示した上で、「〇時」と読むことができる。

この欄には、特別支援学校(知的障がい)の各教科等の目標、内容に照らし、具体的に定めた指導内容、達成状況について記入します。

指導要録の様式2「指導に関する記録」については、「指導計画B」シートの「年度末の様子」の全部又は一部を転記したり、作成の参考にした上で記入したりします。

特別支援学校(知的障がい)の国語、算数・数学、音楽については、文部科学省著作教科書(☆本)や教科書解説書が発行されています。指導・支援の参考はもちろんのこと、年度当初や年度末の様子を記入する際の参考にもなります。



指導計画 B (小学校用)

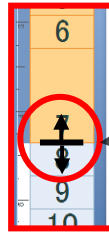
～指導の形態(時間割)ごとに計画!～

指導計画 B (中学校用)

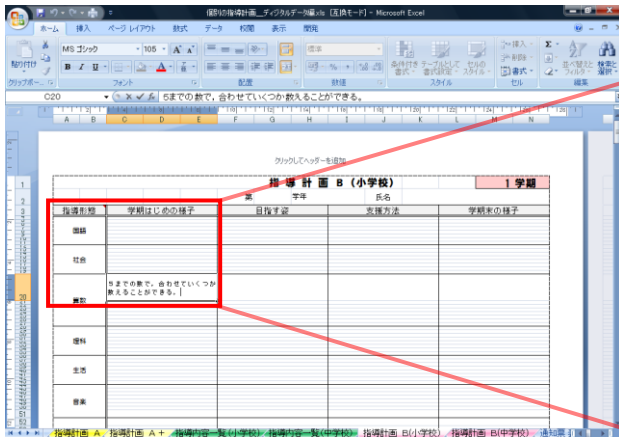
～指導の形態(時間割)ごとに計画!～

3 指導計画関連シート群

- 1 1学期の「学期はじめの様子」については、「指導内容一覧」シートの「年度当初の様子」をコピーします
2学期の「学期はじめの様子」については、1学期の「学期末の様子」をコピーします
ほかの教科等の「学期はじめの様子」についても、同じようにコピーしていきます

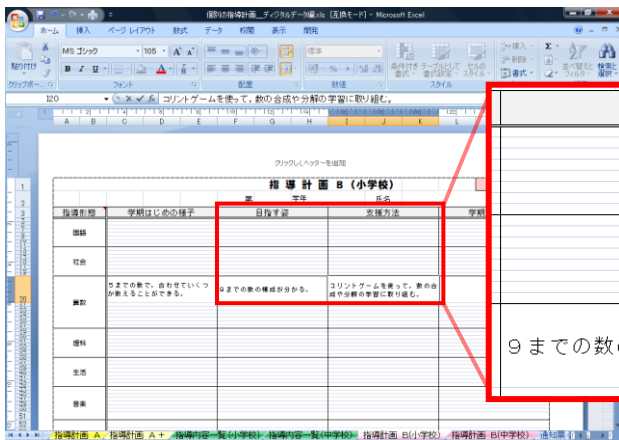


行の高さが足りないときには、マウスポインタをセル行番号の下側境界に合わせ、マウスポインタが左図の形状になったら、ドラッグして高さを変更します



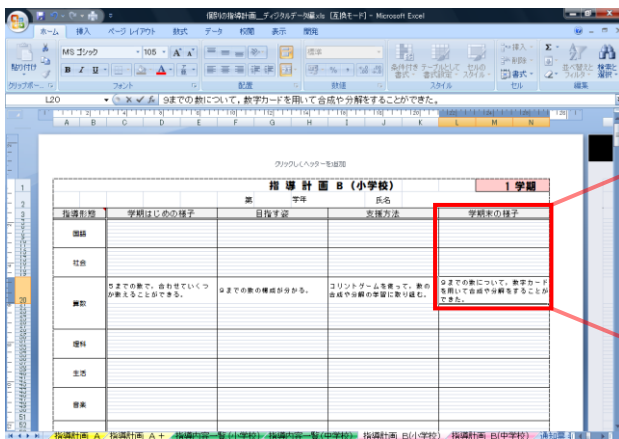
指導形態	学期はじめの様子
国語	
社会	
算数	5までの数で、合わせていくつか数えることができる。

- 2 「目指す姿」、「支援方法」を入力します
ほかの教科等についても、同じように入力します



目指す姿	支援方法
9までの数の構成が分かる。	コリントゲームを使って、数の合成や分解の学習に取り組む。

- 3 学期末に「学期末の様子」を入力します
ほかの教科等についても、同じように入力します



学期末の様子
9までの数について、数字カードを用いて合成や分解をすることができた。

指導と評価の手順や留意事項

個別の指導計画は、一人一人の教育的ニーズに対応した、一貫性のある継続した指導・支援のための道具です。

作成することを目的とするのではなく、何のために、どのように活用するのかを検討した上で作成することが大切です。

すると、児童生徒によっては、必要となる個別の指導計画が異なってくることもあります。「〇〇さんには、本校の個別の指導計画の様式は合っているけれども、△△さんだと空欄が多くなってしまう。」ということもあるので。

そこで、本ソフトの各シートを児童生徒の教育的ニーズに応じて選択して活用しましょう。

★印のついたシートが個別の指導計画のためのシートであり、●印のついたシートから必要のあるものを加えることにより、個別の教育支援計画として活用することができます。通常の学級に在籍している児童生徒についても、各校で活用している個別の指導計画に●印のついたシートから必要のあるものを加えることにより、個別の教育支援計画として活用することができます。

1 児童生徒の実態把握

「フェイスシート兼家庭環境調査票」シート、「基礎資料」シート、これまでの学習や生活の記録

ポイント

- ◆具体的な児童生徒の様子と、児童生徒を取り巻く環境(支援の状況を含む)の様子をつかみ、それらの相互作用について考える
- ◆障がいの状態、発達段階を考慮に入れる
- ◆児童生徒の願いやニーズ等を考慮に入れる

2 目標・指導内容、支援方法等の設定

【自立活動の場合】

「指導計画A(A+)」

①学校教育目標を踏まえて、実態把握を基に目標を整理し焦点化する

例：かんがえる子→身近な人に自分の要求を伝える

②行動レベルで、目標(具体的な指導内容)を設定する

例：担任に「体育館に行ってきます」と言葉で伝える

③自立活動との関連を検討し、関連する指導内容や支援方法の参考にする

例：6コミュニケーション(2)言語の受容と表出に関すること
3人間関係の形成(2)他者の意図や感情の理解に関すること

④手立てを明確にした、支援方法を設定する

例：教師から「どこに行って遊びますか」と尋ね、太郎さんが答えるまで待つ。太郎さんが言葉に詰まる場合には「たい・・・」などのヒントを与える。

⑤指導・支援が可能、評価が可能な指導の場・時を明確にする

例：教室・昼休み時間

目標(具体的な指導内容)を、行動レベルで設定することで、支援方法の検討につながります。

▲教師にやりたいことを伝える

△教師に「体育館に行ってきます」と伝える

○担任に「体育館に行ってきます」と言葉で伝える



指導と評価の手順や留意事項

【教科等の場合】

「指導内容一覧」

- ① 教育的ニーズを踏まえ，児童生徒が学習する教科等の指導内容を検討する
 「在籍学年の教科等の指導内容」がよいのか
 「下学年の教科等の指導内容」がよいのか
 「特別支援学校(知的障がい)の教科等の指導内容」がよいのか

② 教科等の指導内容は、どのような構成や内容になっているのかを確認する

③ 指導内容の習得状況を確認する

「指導計画B」

④ 行動レベルで、目指す姿を設定する

⑤ 手立てを明確にした支援方法を設定する

手立て その1～その3≒できる環境づくり

その1 活動の流れ

活動そのものと前後の活動や、全部行うのか一部だけを行うのか、時間等は適切かなどについて検討しましょう。

その2 場・教材教具

安全面を考慮した上で、児童生徒が取り組みやすくなるための場や教材教具を、検討しましょう。

その3 教師等のかかわり

どの程度、どのタイミングでかかわるのか、教師だけではなく友達同士のかかわりも含めて検討しましょう。

3 実践

複数の教師がかかわる指導の場であれば、学年会を利用したり、朝の打合せ・放課後の会話を利用したりしながら、児童生徒への支援の確認や振り返りを行ったりしましょう。

また、指導案や行事等の実施計画等に個別の指導・支援として示しておくことも大切です。

4 評価

評価は、子どもの様子を基に、目標（具体的な指導内容）等の到達度合いを評価するのみならず、支援方法の妥当性についても評価するものです。したがって、実践後だけではなく、実践中も評価を行い、目標（具体的な指導内容）や支援方法を繰り返し検討していくことが、質の高い実践につながります。



教育的ニーズについてあらためて考えてみましょう。竹林地(2002)は、「教育的ニーズとは、「現在から未来にわたる豊かな生活を実現するために、その子ども自身が学校教育に求めていること」であり「今、将来に必要と判断される事柄(地域での生活や年齢等を考慮して、必要とする支援の内容とその程度)」の内容としてとらえ、「子ども本人や保護者、教師、社会のニーズ等を総合的に考察した結果として導きだす」という手続きを経て整理していく必要があると考えられる。」としています。様々な軸による分析と整理が必要なのです。

小学校の事例

仙太さんの担任の場合



仙太さんは、学習が得意なんです。でも、他者とかかわることとか、気持ちを安定させることができれば、もっと力を発揮できると思うなあ。体育は苦手意識をもっているなあ。

教科は交流学級で、生活単元学習と体育の一部は特別支援学級でやろう。

前の担任が使っていた個別の指導計画の様式は、特別支援学級でほとんどの時間を過ごす子どもには使いやすけれど・・・

個別の指導計画を作って、通知票も作って、指導要録も作って、何だか大変だなあ。

通知票は、交流学級と同じものでいいよね。ひとまず「指導計画A」シートと、「交流学級、教科担任打合せ」シートをつくってみよう。

「交流学級担任、教科担任 打合せ資料」シート

交流学級、教科担任 打合せ資料			
在籍学級		岩手学級	交流学級
ふりがな		せんた	性別 男
児童生徒氏名	仙太	生年月日	平成13年4月1日
記入日 平成25年4月1日			
交流及び共同学習等の場面	特学担任等の支援	参加を望む活動	【交流及び共同学習等のねらい】 ・交流学級担任、教科担任にお願いしたいこと
朝の会、係活動	特学担任	活動全般 ※朝の会での進行も含む	【学級内組織の活動に取り組み、役割を果たすことの意義を理解したり、望ましい人間関係を形成したりする】 ・非日常的な活動や新たな活動については、事前に説明してほしい
▲混乱しているときに、その場で説明すること			
交流及び共同学習等の場面	特学担任等の支援	参加を望む活動	【交流及び共同学習等のねらい】 ・交流学級担任、教科担任にお願いしたいこと
朝学習	なし	時間と場所の共有 ※個別の課題に取り組む	【集団と同じ場所において個別の課題に取り組む、内容を習得する】 ・個別の課題は、本人が持っていく。個別の課題がない場合は、読書の時間としてほしい ・朝学習の時間に、学年集会等が入った場合は、理由を伝えてから他の子どもたちと同じ活動に取り組ませてほしい ・個別の課題のめづりをお願ひしない
朝の会、係活動	特学担任	活動全般 ※朝の会での進行も含む	【学級内組織の活動に取り組み、役割を果たすことの意義を理解したり、望ましい人間関係を形成したりする】 ・非日常的な活動や新たな活動については、事前に説明してほしい
教科	なし	活動全般 ※グループ学習での進行は、教師等の補助が必要	【多様な考え方、多様な学び方に触れながら、教科の指導内容を習得する】 ・機械的な記憶に優れていることから、機会をとらえて生かしてほしい ・友達の見解や教師の説明については、時折要約して伝えてほしい
給食	なし	活動全般	【当番活動等の役割と働くことの意義を理解する】 ・仲間と協力して配膳できているかを観察し、指導が必要な場合は、その様子を担任に伝えてほしい
清掃活動	なし	活動全般	【当番活動等の役割と働くことの意義を理解する】 ・無言で時間いっぱい清掃活動できるよう、すべき活動をあらかじめ伝えてほしい
行事・学年集会・委員会	なし	活動全般	【集団への所属感や連帯感を深め、協力して取り組む】 ・配慮事項に準ずる
教科	なし	活動全般 ※グループ学習での進行は、教師等の補助が必要	【多様な考え方、多様な学び方に触れながら、教科の指導内容を習得する】 ・機械的な記憶に優れていることから、機会をとらえて生かしてほしい ・友達の見解や教師の説明については、時折要約して伝えてほしい



健康観察で挙手をして伝える仙太さん(朝の会)



暗唱の様子(国語)

「指導計画A」シート

指導計画A

第5学年 氏名 仙太

指導の目標（ねらい）	目標（具体的な指導内容）	自立活動※優先する目標のみ記載	支援方法	指導の場・時	評価	
かんがえる子	自分のするべき活動を確実に行うことができる。	既習の内容や現在学習している内容を定着させるために、毎日自学に取り組むことができる。	2.心理的な安定(1)情報の安定に関すること 3.人間関係の形成(3)自己の理解と行動の調整に関すること	・プリントと普読の定型的な課題とする。 ・取組内容だけでなく、取組状況についても提出の際に評価する。 ・難しい問題と感じた場合には、自分の部屋から一度出てクールダウンすることを保護者と本人とで確認する。	・教室・帰りの会前 ・教室・登校時	7月 A
		既習の内容や現在学習している内容の学習プリントに毎日取り組み、分かったことや大事なことをまとめることができる。	2.心理的な安定(1)情報の安定に関すること 3.人間関係の形成(3)自己の理解と行動の調整に関すること	・分かったことや大事なことをまとめる様式を提示し確認する。 ・はじめは取組状況についての評価とし、徐々に内容面についても評価を加える。 ・難しい問題と感じた場合には、自分の部屋から一度出てクールダウンすることを保護者と本人とで確認する。	・教室・帰りの会前 ・教室・登校時	11月
						3月
おもいやりのある子	環境や友達の思い等をふまえて活動することができる。	友達が喜ぶ行動と嫌がる行動を一つ一つ理解して行動することができる。	2.心理的な安定(2)情報の理解と変化への対応に関すること 3.人間関係の形成(2)他者の意思や感情の理解に関すること	・これから取るようとする行動の前に「これは喜ぶでしょうか、嫌がるでしょうか」と問い、本人の考えに対して説明を加える。行動後についても、同様。	・教室・生活単元学習及び体育	7月 B
		友達が喜ぶ行動と嫌がる行動を一つ一つ理解して行動することができる。	2.心理的な安定(2)情報の理解と変化への対応に関すること 3.人間関係の形成(2)他者の意思や感情の理解に関すること	・これから取るようとする行動の前に「これは喜ぶでしょうか、嫌がるでしょうか」と問い、本人の考えに対して説明を加える。行動後についても、同様。 ・行動ノートとしてまとめる。	・教室・生活単元学習及び体育 ・教室・帰りの会前	11月
						3月
たくましい子	きまりが分かり、守らうとすることができる。	無言で清掃することができる。	2.心理的な安定(1)情報の安定に関すること 3.人間関係の形成(2)他者の理解と変化への対応に関すること	・清掃の意義と、無言で取り組むことの意味を確認する。 ・しっかりと取り組むことができれば評価する。	・清掃場所・清掃時間	7月 B
		無言で清掃することができる。		・清掃に行く前に無言で清掃することを毎日確認し、教師が清掃場所を訪れる。 ・遠くから見て無言で清掃していたのを確認してから近くに行って評価する。	・教室・清掃前 ・清掃場所・清掃時間	11月
						3月

目標（具体的な指導内容）	自立活動	支援方法	指導の場・時
友達が喜ぶ行動と嫌がる行動を一つ一つ理解して行動することができる。	2 (2) 3 (2)	・これから取るようとする行動の前に「これは喜ぶでしょうか、嫌がるでしょうか」と問い、本人の考えに対して説明を加える。行動後についても、同様。 ・ノートにまとめる。	・教室・生活単元学習及び体育 ・教室・帰りの会

高さを合わせるとうまくいくし、
〇〇さんもやりやすくて喜ぶんだあ。



新聞紙を使った動きづくり(体育)



新聞紙の上のボール運び(体育)

机を運ぶときも、高さを
合わせるって大事なんだ。



ノートにまとめる(帰りの会)



場づくりのための机運び(生単)

指導することがはっきりしたので、交流学級の先生とも打ち合わせがしやすかったですし、一緒に評価することができました。通知票は、通常の学級の通知票として、「指導計画A」シートを加えて渡すことにしました。



総合所見及び指導上参考となる諸事項の欄には、「交流学級、教科担任打合せ資料」シートの内容を抜粋して書けばいいですね。

指導要録の自立活動の欄には、「指導計画A」シートの内容を書けばいいですね。

小学校の事例

銀河さんの担任の場合

今まで使っていた個別の指導計画の様式は、コンパクトで作りやすかったけれど・・・授業とか学校生活にあまり生かせなかったし、あらためて通知票を作ったり、指導要録の文章を考えたりして大変だったなあ。



銀河さんには、下学年や特別支援学校（知的障がい）の各教科の内容の指導が適切だと思うなあ。

朝の会や清掃などの毎日の活動や、行事等の学年としての活動は交流学級の友達と共に学ぶことが大切！でも、教科等は、特別支援学級で銀河さんに合った内容をやろう。

「指導計画A」シート

指導計画 A					
第6学年 氏名 銀河					
指導の目標（ねらい）	目標（具体的な指導内容）	自立活動※優先する目標のみ記載	支援方法	指導の場・時	評価
かんがえる子	自分の役割や仕事を責任をもって果たすことができる。	朝掃除の仕方（1）役割の理解と責任への対応に関すること 人間関係の形成（4）集団への参加の基礎に関すること	・はじめは、朝掃除で取り組む活動を固定し、徐々に、友達が伝えた活動に取り組む ・担任が必ず巡回し、評価する	・玄関前・登校後	7月 A
	朝掃除において、友達に取り組んでいない活動を見つけ取り組むことができる。	朝掃除の仕方（1）役割の理解と責任への対応に関すること 人間関係の形成（4）集団への参加の基礎に関すること	・担任と「～は〇〇さん、～は△△さん」のように、活動と友達をマッチングさせながら言葉で確認する ・「～は・・・」と友達の名前が出てこないものに「銀河さん」と言ってから取り組む	・玄関前・登校後	11月
おもいやりのある子	友達に必要な支援をすることができる。	移動の際の教師の声かけを音図にして、下学年の友達に声をかけてから一緒に行動することができる。	・「〇〇さん行くよ」という話し方を事前指導する ・担任の「移動します」の声かけを音図にする	・教室等・生活単元学習	7月 A
	移動の際に、下学年の友達に声をかけてから一緒に行動することができる。	移動の際に、下学年の友達に声をかけてから一緒に行動することができる。	・担任の「移動します」の声かけを「はいいきます」、「みんなこっちだよ」のように変化を加える	・教室等・生活単元学習	11月
たくましい子	健康や身体の変化に関心をもち、健康で安全な生活ができる。	健康観察のときに、自分の健康状態を、担任に伝えることができる。	・はじめは、担任からの「銀河さん体調はどうですか」の問いのあとに、切り傷、痛み、かゆみ、寒さ等についてまとめた絵カードで示し選択するようにする ・徐々に絵カードをなくし、問いだけにする	・教室・朝の会	7月 A
	身近な教師（学内）からの問いかけに対して、自分の健康状態を伝えることができる。	身近な教師（学内）からの問いかけに対して、自分の健康状態を伝えることができる。	・はじめは、異なる場所で担任が問いかけ、徐々に担任以外の教師からの問いかけに移る	・すべての場・すべての時間	11月
					3月
	目標（具体的な指導内容）	自立活動	支援方法	指導の場・時	
	朝掃除において、友達に取り組んでいない活動を見つけ取り組むことができる。	2（2） 3（4）	・担任と「～は〇〇さん」のように、活動と友達をマッチングさせながら言葉で確認する ・「～は・・・」と友達の名前が出てこないものに「銀河さん」と言ってから取り組む	・玄関前 ・登校後	



自分の活動に取り組む様子（朝掃除）

通知票は、「表紙」シートと「裏表紙」シート、「生活記録」シートの中に、「指導計画A」シートと、「指導内容一覧」シート、「指導計画B」シートをはさむファイリング形式にしました。



指導要録の自立活動の欄には、「指導計画A」シートの内容を書こう！各教科等の欄には、「指導内容一覧」シートの内容を書けばいいですね。

「指導内容一覧」シート ※国語の部分のみ抜粋

	指導内容	年度当初の様子
話すこと・聞くこと	【小1・2：話すこと】イ 相手に応じて、話す事柄を順序立て、丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて話すこと	思いっくままの事柄を丁寧な言葉で話す
	【小1・2：聞くこと】エ 大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞くこと	興味関心のあることを記憶にとどめておく
書くこと	【小1・2：構成】イ 自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること	活動の全体像あるいは一部のみをとらえて構成する
	【小1・2：記述】ウ 語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くこと	活動の全体像あるいは一部のみを書く
読むこと	【小1・2：説明的な文章の解釈】イ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと	内容の大体を読む
	【小1・2：文学的な文章の解釈】ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと	登場人物の行動を読む
伝統的な言語文化・国語の特質	【小1・2：言葉の特徴やきまり】(カ) 文の中における主語と述語との関係に注意すること	「誰が」が人を表し、「何をした」は行動を表すということを理解している
	【小3・4：文字】(イ) 第3学年及び第4学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと	第2学年までの漢字の読み・書きともに理解し、文の中で使う

「指導計画B」シート ※国語の部分のみ一部抜粋

目指す姿	支援方法
話す事柄を順序立てて話す	・教師が「～をして～をしましたか」の問いかけをする
大事なことを落とさないようにしながら注意深く聞く	・教師からの問いかけに答えられなかったときは「もう一度話してください」と聞き返す
事柄の順序に沿って構成する	・教師が「～をして～をしましたか」の問いかけをする ・2枚の白い紙を用意し、二つの事柄を伝えることを理解できるようにする
「～をして、～をしました」のように2つ以上の活動を順序に沿って書く	
「～をして、～をしました」のように2つ以上の活動をつなげて読み取る	
登場人物の行動から分かる様子について、教師の説明を聞いて理解する	・行動から分かる様子についてイラストをまじえて説明する
「誰が、何をした」を続けて書いたり読んだりして、主語と述語との関係を理解する	・活動後の作文指導において、教師が意図的に問いかけたり、定型的文章を書くように指導したりする
第3学年及び第4学年の漢字30文字を読んだり書いたりする	・国語の時間と朝学習、家庭学習の連動を図る



漢字の読み書き学習の様子(国語)



一度に二つの指示が入った指示書を読み、計画表をつくる様子(生単)

「指導計画B」シート ※生活単元学習の国語に関する部分のみ一部抜粋

話す事柄を順序立てて話す	・教師が「～をして～をしましたか」の問いかけをする ・2枚の白い紙を用意し、二つの事柄を伝えることを理解できるようにする
大事なことを落とさないようにしながら注意深く聞く	・教師からの問いかけに答えられなかったときは「もう一度話してください」と聞き返す
事柄の順序に沿って構成する	・教師が「～をして～をしましたか」の問いかけをする ・2枚の白い紙を用意し、二つの事柄を伝えることを理解できるようにする
「～をして、～をしました」のように2つ以上の活動をつなげて読み取る	



完成させた計画表を読み、活動を順序立てて話す様子(生単)

中学校の事例

徳志さんの担任の場合

今まで使っていた個別の指導計画は、作ったときと年度末の評価のときには見るけれども、授業に生かしていたかという・・・。



特別支援学級の数学を担当しているけれども何をどのように教えればいいのか悩むなあ。
1学期の様子もふまえて、夏休み中に小学校の先生に相談してみよう。



夏休み中の小・中連携会議の様子

■単元づくり:数学「正負の数」

「指導計画B」シート ※数学の時間で扱う数学に関する内容(数と計算に関する領域)のみ抜粋

学期はじめの様子	目指す姿	支援方法
繰り返し学習する環境では、1位数どうしのたし算を、正しく計算することができる	正負の数の意味を理解し、2位数どうしのたし算を正確に計算することができる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 難しい問題から取り組み始めることができるように、問題やプリントを準備する ・ 視覚的に理解しやすい教材・教具を提示する ・ 計算方法や手順をキーワードを使って教える
かけ算では、九九表を使いながら2の段、5の段の計算をすることができる	かけ算において、理解できる段を増やし、生活場面で活用する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本人の生活に結び付きやすい問題を提示する ・ 日常生活の中で、かけ算が必要な場面を取り上げたり、設定したりする

単元「正負の数」における徳志さんの目指す姿と支援方法

単元における目指す姿	支援方法
正負の数の意味を理解し、2位数どうしのたし算を正確に計算することができる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 繰り上がりのない1位数どうしの計算から始める ・ 本人の生活に結び付きやすい題材を提示する ・ 計算の仕方を分かりやすく理解できるように「まぜまぜ作戦」、「けしけし作戦」の2つの方法を示す ・ 計算操作を視覚的に理解できるように、正の数と負の数を色分けした図を使用して伝える

■授業づくり:数学「正負の数」第1時

第1時の目指す姿	支援方法
繰り上がりのない1位数どうしのたし算を、正確に計算することができる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「まぜまぜ作戦」、「けしけし作戦」の2つの方法を、教師と一緒に確認する ・ 正の数は赤、負の数は青で色分けして数直線等で表す ・ 式に対応させた図等を記入できるプリントを用意する



第1時の様子から、今回の授業で行った支援方法は有効であることが分かったぞ。
次の授業でも、この支援方法を続けよう。

■授業づくり:数学「正負の数」第2時

第2時の目指す姿	支援方法
繰り上がりのない1位数と2位数どうしのたし算を、正確に計算することができる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数が大きくなったり、小さくなったりしても、「まぜまぜ作戦」、「けしけし作戦」が使えることを、教師と一緒に確認する ・ 正の数は赤、負の数は青で色分けして数直線等で表す ・ 式に対応させた図等を記入できるプリントを用意する



自力で学習プリントに取り組む様子

中学校の事例

■評価:数学「正負の数」

評価
 繰り上がりのある2位数と1位数のたし算を、
 正確に計算することができた



目指す姿と支援方法を検討しながら、授業を積み重ねていき、いよいよ評価！

「指導計画B」シート ※数学の時間で扱う数学に関する内容(数と計算に関する領域)のみ抜粋

学期はじめの様子	目指す姿	支援方法	学期末の様子
繰り返し学習する環境では、1位数どうしのたし算を、正しく計算することができる	正負の数の意味を理解し、2位数どうしのたし算を正確に計算することができる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 易しい問題から取り組み始めることができるように、問題やプリントを準備する ・ 視覚的に理解しやすい教材・教具を提示する ・ 計算方法や手順をキーワードを使って教える 	気温と結び付けながら、正負の数の意味を理解し、繰り上がりのある2位数と1位数のたし算やひき算を、正確に計算することができた
かけ算では、九九表を使いながら2の段、5の段の計算をすることができる	かけ算において、理解できる段を増やし、生活場面で活用する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本人の生活に結び付きやすい問題を提示する ・ 日常生活の中で、かけ算が必要な場面を取り上げたり、設定したりする 	配膳場面と関連付けながら、かけ算の意味を理解することができた 1～8の段までの九九を自力で唱えることができた

「指導内容一覧」シート ※数学に関する内容(数と計算に関する領域)のみ抜粋

教科等	指導内容	年度当初の様子	年度末の様子
数と計算 数学	【中：加法】2位数以下の加法	繰り返し学習する環境では、1位数どうしのたし算を、正確に計算することができる	温度と結び付けたり作業学習と関連付けたりしながら、正負の数や10のまとまりについて理解し、繰り上がりのある2位数と2位数のたし算やひき算を、正確に計算することができた
	【中：乗法】2の段、5の段、3の段の九九	かけ算では、九九表を使いながら2の段、5の段の計算をすることができる	配膳場面と関連付けながら、かけ算の意味を理解することができた 1～8の段までの九九を自力で唱えることができた

3学期の様子



単元の評価をもとに、「指導計画B」シートの学期末の様子に入力したぞ！
 他の教科担任にも、学期末の様子を入力してもらって、このシートを通知票として配付しよう！

「指導計画B」シートの学期末の様子と、3学期の様子を踏まえて、「指導内容一覧」シートの年度末の様子に入力！
 指導要録の各教科・特別活動・自立活動の欄には、この内容を転記すればいいから、的確な内容になるし、効率的だ。

「指導内容一覧」と、「指導計画B」シートを使うと、授業の改善につながるし、それが通知票や指導要録につながっていくことが分かったぞ！

指導要録
 様式2(指導に関する記録)

学年	1	2	3
国語			
英語			
社会			
数学			
理科			
音楽			
美術			
保健体育			
職業実践			
特別活動			
自立活動			

交流学級担任・教科担任

年度当初の担任連絡会からスタート

「交流学級,教科担任 打合せ資料」シート

- ◆「交流学級,教科担任 打合せ資料」シートを使って,児童生徒の様子や,これまでの指導・支援について確認する
- ◆交流及び共同学習の場面や活動,ねらい,交流学級担任,教科担任がすべきことを明確にする
- ◆可能であれば教務主任等も参加し,校内体制の基で取り組むことができるようにする

学年	担任	交流学級	児童数
1年	山本	1年1組	20名
学年	担任	教科担任	児童数
1年	山本	国語	20名
1年	山本	算数	20名
1年	山本	英語	20名
1年	山本	理科	20名
1年	山本	社会	20名
1年	山本	音楽	20名
1年	山本	体育	20名
1年	山本	保健	20名
1年	山本	家庭科	20名
1年	山本	総合	20名

学年会や教科部会におじゃまします

「指導計画A(A+)」シート,「指導内容一覧」シート,「指導計画B」シート

- ◆学年行事や取組の中での活動内容や支援方法,各教科における指導内等について検討したり確認したりする



やっぱり,日常の炉辺談話は大切

- ◆職員室で,廊下で,湯沸かし室等で,児童生徒の様子について話題にし,指導・支援の改善や「交流学級,教科担任 打合せ資料」シートの修正,新たなシートの作成等につなげる

先手の支援につなげる,朝の予定確認

- ◆児童生徒の様子,今日の予定,可能な支援について確認する

今日の3校時は,体育ではなくて,学年で学習発表会の練習をします。初めてのステージ練習です。いつもと違う流れなので特に確認しますね。

保護者

まずは児童生徒の理解から

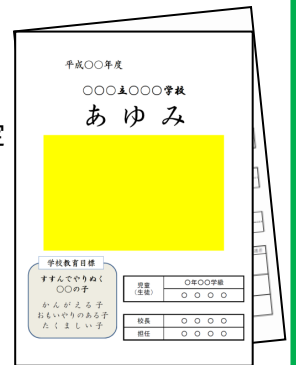
「フェイスシート兼家庭環境調査票」シート,「生活に関するアンケート(保護者宛)」シート

- ◆年度はじめに,「フェイスシート兼家庭環境調査票」シートを配付し,新たに記入していただいたり,前年度の用紙に修正を加えていただいたりする
- ◆必要に応じて「生活に関するアンケート」シートを配付し,生活と結び付けた教科指導や,領域・教科を合わせた指導を充実させていく手がかりとする

年間の指導方針を確認

「指導計画A(A+)」シート,「指導内容一覧」シート,「指導計画B」シート

- ◆各シートを保護者に配付してご批正いただいたり,説明する機会を設定して意見をいただいたりしながら,指導方針を確認する



学期・年度末に指導結果を確認

次学期・年度に指導の方向性を確認

「指導計画A(A+)」シート,「指導内容一覧」シート,「指導計画B」シート

- ◆各シートをファイリングして通知票として配付したり,個別面談の際に説明したりするなどして指導結果を確認する
- ◆保護者から意見をいただき,次学期・年度の指導の方向性を確認する

隣接校種等

◆進学先との情報共有(事前①)

- ◆在籍校では、保護者の同意を得た上で、作成・活用してきた各シートを基に、卒業年度の2学期末までに進学先と児童生徒に関する情報を共有する
- ◆進学先では、体験入学や保護者説明会等がさらに充実したものになるよう、共有した情報を基に検討する

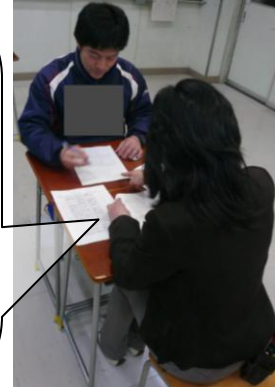
◆進学先との情報共有(事前②)

- ◆在籍校では、保護者の同意を得た上で、作成・活用してきた各シートを基に、卒業年度末までに進学先の担当者との引継ぎ会を行う
- ◆進学先では、引継ぎ会等で共有した情報を基に、入学式や入学後の指導・支援がさらに充実したものになるよう検討する

◆前籍校との情報共有

- ◆夏休み等に、指導方針や学習状況等について、各シートを基に前籍校に報告する
- ◆進学先の担当者と、前籍校の担当者とが、今後の指導方針や指導内容支援方法等について検討する
- ◆前籍校では、進学先での取組から将来を見据えた指導・支援のさらなる検討につなげる

中学校でもがんばっているんですね。
小学校の算数のときのことを思い出すと、プリント1枚当たりの問題数を4間にしたら、取り組むスピードが速くなって、できた喜びを笑顔で表現していました。



◆ファイリング形式の通知票等を、さらにファイリングしてつなぐ

- ◆ファイリング形式の通知票や、他のシートをさらにファイリングする個別ホルダーを準備する
- ◆家庭あるいは学校において、ファイリング形式の通知票等をホルダーに保管する
- ◆ホルダーにファイリングされた通知票等をつなぐ道具として活用する

指導・支援の記録として時をつなぐ
医療機関や利用施設等かかわる場所をつなぐ
担当者間の人をつなぐ



隣接校種や関係機関との情報共有の際には、情報共有の「ねらい」を明確にした上で、以下のシートの中から必要なシートのみを活用することが大切です。

「指導計画A(A+)」シート
「指導内容一覧」シート
「指導計画B」シート



「フェイスシート兼家庭環境調査票」シート
「交流学級、教科担任打合せ資料」シート
「基礎資料」シート
「ネットワーク記録表」シート
「生活に関するアンケート(保護者宛)」シート

情報が少なすぎると、情報共有のねらいを達成できません。
情報が多すぎても情報過多となり、情報共有のねらいを達成できません。
何のために情報共有するのかという「ねらい」を明確にすることから始めましょう。

第2章

1 学習指導要領・指導要録・評価規準・通知票

学習指導要領や指導要録，通知票等は，法的な性格と内容，取扱いの違いと機能上の違いがあります。このことを理解した上で，個別の指導計画を含めたそれぞれの作成・活用を図っていくことが大切です。

【表1】学習指導要領・指導要録・評価規準・通知票

区分	法的な性格と内容	作成主体	文部科学省の関与
学習指導要領	・「学校の教科に関する事項は，文部科学大臣が定める」との学校教育法や学校教育法施行規則（省令）の規定を受け，制定されている学校の教育課程の大綱的な基準（文部科学大臣告示）。各教科等の目標や内容を定める。	・文部科学大臣	・文部科学大臣が作成。
指導要録	・在学する児童・生徒の学習及び健康の状態を記録した書類の原本。学校に作成・保管義務（学校教育法施行規則，保管は原則5年。学籍に関する記録は20年）。	・指導要録の様式を定めるのは設置者の教育委員会（地教行法） ・作成は校長の権限。	・文部科学省は学習指導要領の改訂ごとにその趣旨を踏まえた「指導要録の様式の参考案」を提示。 ・あくまでも「参考案」。ただし転出入児童・生徒の便宜等の観点から多くの自治体で参考例をもとに様式を作成。
評価規準	・指導要録における評価の規準（ものさし）。 <u>法的な根拠はなし。</u>	・作成，内容等はすべて校長の裁量。	・国立教育政策研究所で各学校における規準作成のための参考資料を作成。
通知票	・保護者に対して子どもの学習指導の状況を連絡し家庭の理解や協力を求める目的で作成。 <u>法的な根拠はなし。</u>	・作成，様式，内容等はすべて校長の裁量。 ・自治体によっては校長会等で様式の参考例を作成している場合も。	・なし。

2 個別の指導計画

当センター特別支援教育担当による「小学校通常の学級における特別な教育的支援を必要とする児童への支援の在り方に関する研究－校内での共通理解を促すための研修資料集の作成をとおして－」（2010）では，特別支援教育を推進していくための視点【資料1】を示しました。

【資料1】特別支援教育を推進していくための5つの視点

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 【個別化】目標や手立て・評価が，その子どもに応じたものになっていること 【集団化】手立てにかかわる場面や，活用の場面が集団での活動を意識したものであること 【一貫性】目標や手だて等について，職員相互の共通理解が図られていること 【継続性】教育の成果等について引継ぎや説明が行われ，発展的に継続されていること 【連携】保護者や医療関係者等，子どもにかかわる人と共通理解が図られること |
|--|

これら5つの視点に照らし合わせると，個別の指導計画は，一人一人の教育的ニーズに対応した，一貫性のある継続した指導・支援のための道具ととらえることができます。決して，作成することを目的とするのではなく，何のために，どのように活用するかを十分に検討し作成することが必要なのです。

3 指導要録

★様式1「学籍に関する記録」★

様式1「学籍に関する記録」は、特別支援学級も通常の学級も同じ様式です。

【小学校指導要録（参考様式）】

【中学校指導要録（参考様式）】

小学校児童指導要録（参考様式）		中学校生徒指導要録（参考様式）	
様式1（学籍に関する記録）		（学籍に関する記録）	
学年	整理番号	学年	整理番号
1		1	
2		2	
3		3	
4		4	
5		5	
6		6	

在籍している障がい種別の特別支援学級と、その学級での整理番号を記入します。

在籍している障がい種別の特別支援学級の担任名を記入します。

★様式2「指導に関する記録」★

様式2「指導に関する記録」については、実際の様式を参照しながら、記入上留意すべき点を確認します。ただし、記述に関する詳細については、所管する教育委員会に相談してください。

【小学校指導要録（参考様式）】

様式2（指導に関する記録）	
学年	整理番号
1	
2	
3	
4	
5	
6	

在籍している障がい種別の特別支援学級と、その学級での整理番号を記入します。

当該学年の教科ではなく、下学年対応で指導している場合は、「総合所見及び指導上参考となる諸事項」にその旨を記入した上で、指導している下学年の規準で評価を行います。

当該学年の教科ではなく、下学年対応で指導している場合は、その旨を記入します。
例：国語については第2学年、算数については第1学年の教科を適用

観点別学習状況の評価

＜評価の観点＞

- ① 関心・意欲・態度
- ② 思考・判断
- ③ 技能・表現
- ④ 知識・理解

評定

＜小学校（第3学年以上）＞

3：十分満足できる
2：おおむね満足できる
1：努力を要する

＜中学校＞

5：十分満足できるもののうち、特に程度が高い
4：十分満足できる
3：おおむね満足できる
2：努力を要する
1：一層努力を要する

【特別支援学校（知的障がい） 小学部指導要録（参考様式）】

特別支援学校（知的障がい）の教科等を取り入れている場合は、この様式を使用します。

また、教科によっては、当該学年の教科、特別支援学校（知的障がい）の教科というように組み合わせる指導を行っている場合も、この様式を使用します。その際は、「総合所見及び指導上参考となる諸事項」にその旨を記入します。

様式2（指導に関する記録）		児童氏名	学校名	区分	学年	1	2	3	4	5	6

各教科・特別活動・自立活動の記録											
学年	1	2	3	4	5	6					
生活											
国語											
算数											
音楽											
図画工作											
体育											
特別活動											
自立活動											

児童氏名		行動の記録				入学時の障害の状態
第1学年					第4学年	
第2学年					第5学年	
第3学年					第6学年	

総合所見及び指導上参考となる諸事項						
第1学年	成長の状況を総合的にとらえるために、以下の内容等について記述します。					
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> 各教科等の学習に関する所見 特別活動に関する事実及び所見 行動に関する所見 特徴・特技、社会奉仕体験、表彰、学力検査等 成長の状況にかかわる総合的な所見 交流及び共同学習の内容や成果 					
第3学年						
第4学年						

児童氏名		出欠の記録				備考
学年	1	2	3	4	5	6
1						
2						
3						
4						
5						
6						

この欄には、学校生活全体にわたって認められる行動について、学習指導要領の総則及び道徳の目標や内容、内容の取扱いで重点化を図ることとしている事項等を踏まえて記入します。

障がいの種類及び程度等を記入します。

ここに示されている各教科等は、特別支援学校（知的障がい）の教科等です。教育課程や学習状況に応じ、各教科等については、それぞれの区分毎ごとに書かず、まとめて記入できるようになっています。
※指導内容と指導形態の関係については、当センターwebページに掲載している「特別支援学級経営の手引」p.49【図20】を参照してください。

この欄には、特別支援学校（知的障がい）の各教科等の目標、内容に照らし、具体的に定めた指導内容、達成状況を「指導内容一覧」シートを参考にするとして記入します。

自立活動は、「個別の指導計画A」シートを踏まえ、以下の事項等を記入します。
・指導の目標、指導内容、指導の結果
・障がいの状態等に変化が見られた場合の状況
・自立活動の成果を評価するための検査結果

当該学年の教科、特別支援学校（知的障がい）の教科を組み合わせる指導している場合は、その旨をこの欄に記入します。
<小学校の例>
国語、算数、体育については特別支援学校（知的障がい）の教科、図画工作、家庭については当該学年の教科、社会、理科、音楽については下学年（第4学年）の教科を適用

教科名が空欄になっている様式の場合もあります。生活単元学習や日常生活の指導等の領域・教科を合わせた指導を行っている場合は、必要に応じて枠を設定するなど様式等を工夫して、その状況を適切に記入します。その際も、指導の目標、具体的に定めた指導内容、達成状況を記入します。

【特別支援学校（視覚障がい、聴覚障がい、肢体不自由、病弱）小学部指導要録（参考様式）】

在籍している障がい種別の特別支援学級と、その学級での整理番号を記入します。

様式2「指導に関する記録」に記載する事項に加えて、「個別の指導計画A」シートを基にして、学年ごとの自立活動の記録や、入学時の障がいの状態について記入します。

様式2 (指導に関する記録)

児童氏名		学校名		区分 \ 学年		1	2	3	4	5	6
				学 級							
				整理番号							

各教科の学習の記録							外国語活動の記録							
教科	観 点	学 年	観 点 別 学 習 状 況				学 年	観 点						
			1	2	3	4		5	6					
国	国語への関心・意欲・態度						コミュニケーションへの関心・意欲・態度							
	話す・聞く能力							外国語への慣れ親しみ						
語	書く能力						外国語についての知識・理解							
	読む能力							言語や文化に関する気付き						
社	国語についての知識・理解						社会的事象への関心・意欲・態度							
	社会的な思考・判断・表現							社会的な思考・判断・表現						
道	読解・資料活用						読解・資料活用							
	社会的事象についての知識・理解							社会的事象についての知識・理解						
算	算数への関心・意欲・態度						総合的な学習の時間の記録							
	算数的な考え方							学年	学 習 活 動	観 点	評 価			
数	数量や図形についての技能													
	数量や図形についての知識・理解													
理	自然科						総合的な学習の時間の記録							
	科学							学年	学 習 活 動	観 点	評 価			
生	生活・活動													
	生活・活動													
音	音楽						総合的な学習の時間の記録							
	音楽							学年	学 習 活 動	観 点	評 価			
造	造形													
	造形													
工	家庭生活への関心・意欲・態度						総合的な学習の時間の記録							
	生活や構想の能力							学年	学 習 活 動	観 点	評 価			
家	創造的な技能													
	現実の能力													
庭	家庭生活への関心・意欲・態度						総合的な学習の時間の記録							
	生活を創意工夫する能力							学年	学 習 活 動	観 点	評 価			
庭	生活の技能													
	家庭生活についての知識・理解													
特	運動や健康・安全への関心・意欲・態度						特別活動の記録							
	運動や健康・安全についての思考・判断							内 容	観 点	学 年	1	2	3	4
特	運動の技能													
	健康・安全についての知識・理解													
学	児童会活動						児童会活動							
	クラブ活動							クラブ活動						
校	学校行事						学校行事							

この欄には、学習指導要領等に示す各教科の目標に照らして、その現状状況を観点ごとに評価し記入します。

児童氏名											
項目 \ 学年											
基本的生活習慣											
健康・体力の向上											
思いやり・能力											
生命尊重・自然愛護											
自主・自律											
責任感											
公正・公平											
公共心・公徳心											
創意工夫											
入学時の障害の状態											
自立活動の記録											
第1学年											
第2学年											
第3学年											
第4学年											
第5学年											
第6学年											
総合所見及び指導上参考となる諸事項											
第1学年											
第2学年											
第3学年											
第4学年											
第5学年											
第6学年											
出 欠 の 記 録											
区分 \ 学年											
1											
2											
3											
4											
5											
6											

様式2「指導に関する記録」の作成に当たっては、学習指導要領の目標に照らしたり、「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について(通知)」(2010)の別紙5を参考にしたりしましょう。





盛岡市立上田中学校生徒の作品（タイルを使ったモザイク画）

平成 25 年 3 月発行予定

通知票等と連動した
個別の指導計画 作成・活用パック（特別支援学級用）資料編

著作編集 岩手県立総合教育センター 教育支援相談担当
〒025-0395 岩手県花巻市北湯口 2-82-1
URL <http://www1.iwate-ed.jp/>

発行 岩手県立総合教育センター

※この冊子の無断転載を禁じます。